ロスプリベンションへの道4 協働防犯(10)

我々の活動に主導権や会員拡大いう文字はない

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

日々の活動で大切にしている思い

セキュリティショー2024セミナーにて、ある団体が図解入りで「メーカー団体であるJEASがセルフレジ対策をやっているが今後は小売業側団体である我々が主導権をもって進めることにしたい。」と話されていた。少しざらざらした気持ちになった。我々JEASは主導権をもってやっているつもりはなく、現場の方々が困っているセルフレジ不正対策をなんとかしたいという一念でやっている。今後も主導権という言葉に惑わされることなく現場を支援していきたいと思う。

JEASの総会議案書や理事会議事には会員拡大という文字はない。身のほど以上の会員増強を目的にするより、いま会員が困っている事、ユーザーが困っている事を見つめ、その解決に向け対策に尽力したい。甘いと言われるかもしれないが、会員拡大ということを一ミリも考えなかったお陰でJEASはコロナ禍前の総会員数の2倍に達し、60社を超えている。感謝である。

その感謝を込め、8月2日(金)午後に青少年向けに『電波ってすごいゲルマニウムラジオ手作りセミナー』を関係省庁や会員各位の協力をいただきJEAS技術基準委員会の主催で開催することにした。参加者にはJEASジュニアサイエンスバッチを進呈する予定である。先の理事会では「ぜひ、息子や娘を参加させたい。」という申し出をいただいた。次の世代へ、この感謝を恩送りできればと願っている。みんなのお役に立つこと、それこそがこの工業会の唯一の存在理由でなければならない。

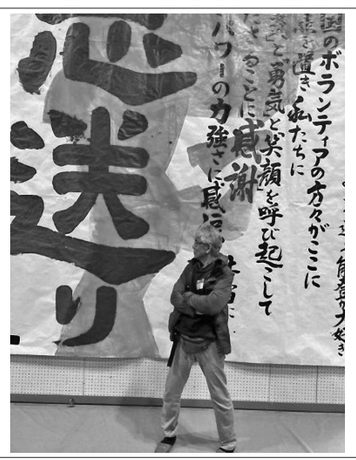
JEASジュニアサイエンスバッチ

3／31 能登だより

2月9日(金)のJEAS第5回運営委員会では、能登地震への工業会の支援対応がテーマになった。他団体の中には、義援金を贈るところもあってそれも大切なことだと思った。実際、個人的には被災された知人達に心ばかりの見舞金を贈った。しかしながら、工業会としてはまずは現地にボランティアを派遣して、災害支援をしながら、現地の確認をすることにした。会員の中には、防犯カメラを寄贈したいという有志がおり、有効に役立てるためにもこの目で現地を見ることが大切だと考えた。なので3月28日(木)にこちらを立って、3月29日(金)に現地入りした。宿泊のベースは穴水町、実際のボランティア活動は能登町で行った。被災した家屋から家財の運び出し作業、側溝のコンクリートの片付けなどマスクや長靴の中まで泥だらけになった。被災された方々と話す機会があり、地震発生時のことだけなく、楽しい思い出である夏の花火大会のこと、地区のお祭りのことをお聞きした。お茶や缶コーヒーをいただきながら美しい能登の海をともに眺めた。

ボランティアには若者達が大勢いた。夜、兵庫県や茨城県から来ていた高校生たちと今後の夢を語らった。災害救助の現場で働きたい、医学でお役に立ちたいなどの若き夢を聞き、この国は光に満ちていると感じた。災害地の写真の投稿は禁止になっていた。唯一許された写真は、宿泊先のテントの前に掲示されていた高校生たちが書いた「恩送り」だけであったが、それで十分であった。

帰り道で能登鹿島駅が見えた。さくら駅とも呼ばれ、プラットホームに並ぶ数十本の桜が線路上に見事な桜トンネルをつくる。開花予想日は4月6日(土)頃だという。満開を想像しながら、ボランティアに参加した若者達の夢、そして能登の復興が「サクラサク」ことを祈念した。



4／19 交通機関と関連店舗等の保安強化プロジェクト発足

先ほどの続きになるが、海辺のボランティア宿泊施設では夜半強風に襲われた嵐の轟音が止まなかった。テントの中で『交通機関と関連店舗等の保安強化プロジェクト』というプロジェクトを考えた。輪島線とも呼ばれていた七尾線の穴水-輪島間を、2005年には能登線の穴水-蛸島間全線を廃止し、最盛期には100kmを超えた営業路線も現在では3分の1にまでになっている。追い打ちをかけるように、今回の地震で道路網が寸断され、復旧の大きな阻害になっている。

新プロジェクトの様子

交通機関の保安強化の現状と今後の方向性についての情報交換を行う。併せて、施設内や隣接する同じく重要インフラである店舗も大きな影響を受けている。そこで新たなプロジェクトで緊急で組成した。その名は原案通りとし、以下の内容で開催した。

会議：第1回交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト

日時：4月19日(金)15時から17時

会場：YOTSUYA TOWER7階高千穂交易のセミナールームとオンライン併用

来賓：国土交通省鉄道局総務課危機管理室危機管理室長 坪原和洋氏ほか2名が参加。

開催目的：

①鉄道・エアポート・バスターミナルなどの公共商業施設の保安強化を目指す。

②その中で、既存のCCTVや警備のパフォーマンスを高めるための方策、さらにはAIを使った見守りや不審動作検知や顔認証システムや多機能トランシーバーや音声対応パトライトなどの効果的な運用事例を学ぶ。関連する海外事例も学ぶ。

③同時に、サイバー対策(Web3・0等)、個人情報の適切な活用や共有の有り方を検討する。

その他：警察・消防等との連携、市民参画やボランティア活動、情報公開などのあり方を学ぶ。

アジェンダ：

①趣旨説明

②国交省側とJEASメンバーの紹介

③課題の共有

④JEAS各社の事例紹介

⑤個人情報保護の観点についての議論

⑥新たに作成すべき内容(パンフレットなど)の洗い出し

⑦今後の予定

主要メンバー：【リーダー】豊田孝志氏 【サブリーダー】砂川和雅氏、【委員】松山雄武氏、奥田雅大氏。JEAS側から総勢25名が参加し、12事例の発表を行った。今後も新たな情報などもあるため継続的に開催することを確認した。

企画から2週間の素早さで新プロジェクトを実現させるパワーの源は、能登のボランティア活動の体験だったかもしれない。何故かは分からないが我々はいつも見えない力・思いに支えられている。

4／25 第1回理事会

令和6年度JEAS第1回理事会を4月25日(木)15時より開催した。新規入会の3社であるセーフィー株式会社(正会員)、株式会社アスタリスク(賛助会員)、株式会社パトライト(賛助会員)の審議、さらには6月7日(金)の通常総会議案書と開催案内、5月7日(火)から募集開始する第5回推奨顔認証システム検定制度と第8回JEAS検定講習会などの審議を行った。16時からは15分勉強会は最新AI活用事例である「映像解析技術とLLM(大規模言語モデル)を利用したリテール業向け来店状況分析とレポート作成」を学んだ。JEAS理事会は会員企業ならみんな傍聴でき、発言もバンバンできる。ゆえにこの回も43名がリアルとオンラインで参加した。さらに17時過ぎの意見交換会には13名が参加し、連携とリスク対策を夜更けまでとことん話あった。JEASの会議には一つだけルールがある。それは参加者全員が最低一度は発言するということ。会議の前ではみな平等なのだから。

新会員の3社を発表

6／7 JEAS通常総会(記念講演会・意見交換会含む)

6月7日(金)13時30分から主婦会館にて通常総会(記念講演会・意見交換会含む)を開催する。紙面の関係で15時からの第2部記念講演会(無料)のみ記載するが第1部(無料)や第3部(有料)もお勧めの内容である。第1部と第2部はオンラインでも参加が可能である。

開催概要……

第2部 記念講演会(無料)

1.〝私だってできるロス分析方法〈仮題〉〟

ミネ医薬品株式会社 常務取締役 富澤 勇様

2.〝「塀の中のおばあさん」の取材で感じたこと〈仮題〉〟

読売新聞社東京本社編集委員 猪熊 律子様

JEAS通常総会申込み案内(会員・業界関係者用)

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240427-1.pdf

7／25 第8回JEAS検定講習会 開催

7月25日(木)に第8回JEAS検定講習会を会場及びオンラインで開催する。講義内容としては、EAS機器関係だけでなく、防犯カメラ、防犯データ利用(顔認証システムなど)、保安警備、AIカメラを含む市場調査など豊富な最新情報が学べる。

開催概要……

1. 目的

工業会 万引防止システム関連の販売・設置・保守・サポート・法務等を行う人すべての方に参加をいただき、万引防止システムの正しい使い方と知識を身につけて、その普及・拡大を目指すものです。

2. 日時と会場

日時：7月25日(木)13時から17時

会場：YOTSUYA TOWER 7階高千穂交易のセミナールーム または Teamsより

3. 対象者：万引防止システムに対して経験が浅い方(例：対象入社2～3年目もしくは同等の社員、関係者)、最新の基礎知識をフォローアップしたい方。参加人員：20名

①希望者多数の場合は正会員優先とさせていただきます。

②対象者がいる正会員は可能な限りご参加をお願いします。

③原則、キャンセルが無いようにしてください。

4. 参加費用：JEAS会員企業・・5，000円(税込)／人、JEAS会員企業外・・10，000円(税込)／人

5. お振込先：7月18日(木)までにJEASの口座に参加費用をご入金ください。

みずほ銀行四谷支店 普通預金1956196 工業会日本万引防止システム協会

6. 検定修了証発行(JEAS登録番号入り)

7. ご不明な点はJEAS事務局までお願いします。TEL 03-3355-2322

尚、参加お申し込みを別添申込用紙にて7月18日(木)までにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

JEAS検定講習会申込み案内

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240725.pdf

5／7 第5回 小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム検定制度」応募開始

顔認証システムに必要とされるシステム性能の基準を策定し、その基準に適合した機器を「推奨顔認証システム」と認定することにより、メーカーは優良な顔認証システムの開発及び小売業に安心して、ご利用いただき普及促進を図る自主認定制度である。

応募概要……

システム認定基準、運用認定基準とは

小売業向け顔認証は、システム認定基準と運用認定基準を審査する認定制度です。システム前提審査では、申請書等、申請機器の標準構成、環境試験に関する申告事項、構造・表示の申告事項と、必須事項である共通機能などをすべて満足するかを審査します。運用認定基準では、関連する法律などを鑑み、システムがその運用を満足する機能を有するか審査します。

審査費用

審査対象システムは、基本ソフトウェアが同一システムであれば費用は一システムとカウントします。バージョンアップは審査不要、但し、分析ソフトなどの基本システムについて、別の開発会社のものを使用するなどの大幅な仕様変更があった場合は再申請となります。カメラ一体型システム等でカメラが別機種などは要相談とさせていただきます。費用には認証発行費用、自社カタログなどの記載利用権が含まれています。

当工業会会員 150，000円(税別)／賛助会員 225，000円(税別)／会員外300，000円(税別)

なお、認定取得したOEM製品については、取り扱い説明の異なるものは別のものとします。

審査日スケジュール及び会場について

(1) 申込み受付期間 2024年5月7日(月)～8月23日(金)

(2) 試験期間 2024年9月9日(月)～11日(水)、要相談、提携会場(所在地：千代田区)

(3) 認定推奨システム公式発表 2024年11月15日(金)第4回科学保安講習会四谷会場にて

具体的な審査内容

審査申込いただいた皆様には本試験のガイドライン(会員ページのe-27)をお送りします。そちらの試験実施内容をご確認ください。2021年度よりマスク着用試験が加わっております。

案内及び審査申込書

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240415.pdf

会員間&工業会の共同リリース事例

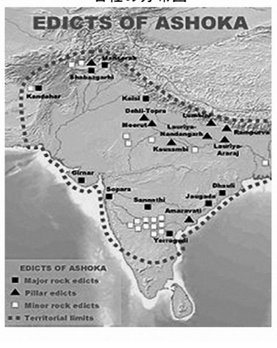
リアルネットワークス株式会社は、AI顔認証ソフトウェア「SAFR®」が用いられたCasley Deep Innovations株式会社のセキュリティDX製品「ASCA® 不審者検知 with SAFR」が、工業会JEASが定めるシステム認定基準と運用認定基準に関する試験に合格し、JEAS推奨製品の4機種目として認定されたことが報じられた。「SAFR®」はJEAS認定の推奨顔認証システムである。推薦製品と推奨顔認証システムの二つのシステムが融合することで、「虎に翼」のような強力なシステムが完成する。このような事例を増やすことが今後のJEASの責務だと思う。

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000049.000046740.html

「いろんな文化に接する」ときの心構え

紀元前三世紀にインドを統一した最初の王 アショーカは、インド各地とその周辺国に石柱「エラグティの勅令」を建立しました。その碑文にはブッダの教えである‘社会的討議の必要性’が刻まれています。

石柱の分布図



‘正しい行い’を発展させるには、人は自分の宗派だけを崇拝して、理由もなく他の者の宗派を軽んじてはならない。軽視したりするのは、特別の理由がある時だけにすべきである。

たとえ理由があったとしても穏健を心がけよ。なぜならば、他の人々の宗派はすべて何らかの理由で崇拝に値するからである。このように行動することによって、人は自分の宗派の地位を高め、同時に他の人々の宗派を助けることにもなる。これと反対に、自分の宗派に対する愛着から、他の宗派を軽んじて、自分の宗派の栄光を高めようと意図する人は、そのようなふるまいによって、実際には、自分自身の宗派にもっとも深刻な損害を与えるのである。

その講演資料の最終ページは右に掲載した資料『「いろんな文化に接する」ときの心構え』で結んでいる。この心構えをもって協働防犯を進めたいと思う。

……

万防機構の総会は6月18日(火)午後 主婦会館での開催に向け、準備しております。

主導権とか会員拡大という表現はどの組織にとっても必要なことだと思うが、我々は現場主義とか自らの責務という思いに変換して今後も対応していくつもりだ。もっとも古いとされる原始仏教経典のスッパニパータには、次の内容が書かれている。

「その(真理)を知った人は、争うことがない。かれらはめいめい異なった真理をほめたたえあっている。～中略～一切の哲学的断定を捨てたならば、人は世の中で確執を起こすことがない。」

5月30日(木)に開催する茨城県防犯設備協会の第二回定時総会の講演会で「大江戸に学ぶ町ぐるみの防犯対策と再犯防止」が予定されている。

全国万引犯罪防止機構(通称：マンボウ)
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人
文：事務局(稲本義範)